

# DSol Customer Profile vol.55

## ● ディザスタリカバリによるデータ保全とサーバ仮想化による事業継続環境の実現

コムチュア株式会社様

コムチュア株式会社様は、「クラウド時代を"コラボレーション"でリードするコムチュア」を経営ビジョンに、Lotus Notes/Dominoを中心としたグループウェアポータルの開発・運用を中心に、クラウド・モバイル分野の高い技術力を組み合わせたサービスを提供されています。最近では他社に先駆け「SaaS型アプリケーションサービス」をクラウドインフラ環境とアジャイル開発で提供され、「技術開発貢献アワード」を創設 クラウドおよびモバイル分野の技術開発を支援されています。

### 1. 導入の経緯

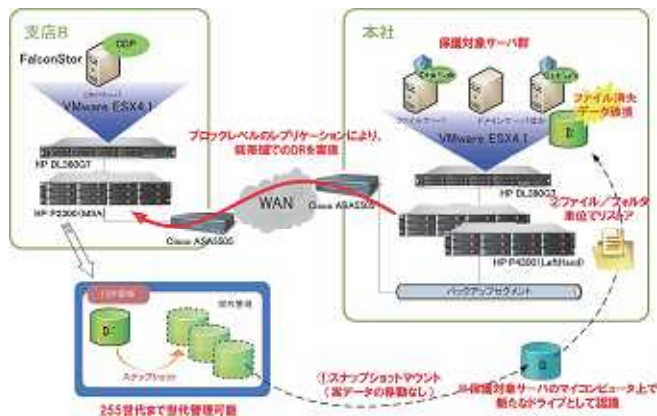
コムチュア様では、以前より社内のインフラ基盤に対して、個々のシステム毎に障害対策を講じておられましたが、さらなる事業継続性の課題やシステム障害時の運用負荷に対する解決策を検討されておられました。また、データ保全という面で、これまでの分散化されたファイルサーバやバックアップ環境に対し、信頼性の高い統合的なデータ保全対策の必要性を感じておられました。

そのような中、弊社ではお客様とお打合せを重ね、①社内基盤サーバ群を信頼性の高いストレージをベースとした仮想環境へ移行する、②別サイトへのディザスタリカバリの環境を構築する、大きく2点のご提案させて頂くこととなりました。

### 2. システム構成

本社基盤サーバ群を、VMware vSphereによる仮想化により、2台のIAサーバと共有ストレージのHA構成にリプレースし、サーバの集約と可用性の向上を実現しました。また、大容量データをブロック単位でデータ同期するFalconStorCDPにより、支店サイトへの低帯域下での遠隔レプリケーションを行い、バックアップ時間を気にせず、障害発生時の早期復旧が可能な環境を構築致しました。

#### ■イメージ図



### 3. 導入効果

今回の導入で、①基盤サーバ群のVMwareHA環境への移行により、サーバ障害によるシステム停止の最小化(HAの切替時間は5分程度)、②遠隔サイトへのデータレプリケーションにより、万が一本社のファイルサーバが破損したケースでも15分程度で復旧が可能な環境を実現しました。ファイル単位での復旧も容易にできることから、通常のバックアップ用途での利用も可能で、従来まで5時間以上を要していたバックアップ時間の問題も解消されました。

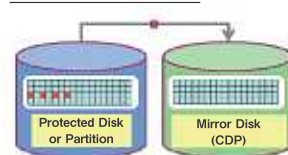
### 4. 弊社の考えと今後の展開

今回は、サーバ仮想化による可用性向上を第一とした環境を構築させて頂きました。本環境のメリットは、これ以外にも、サーバリソースを有効に活用できる点やパフォーマンス増強が容易な点等がございますので、まだ社内で集約されていないサーバ群の順次集約化のご支援ができればと考えております。

#### ※ FalconStorCDP (BCP対策) の特徴

- ・ブロック単位の同期により、低帯域の回線でも遠隔サイトへ同期が可能
- ・あらかじめ定めたタイミングでスナップショットを取り、復旧の時点を柔軟に決めることが可能。
- ・ディスクを代替機にマウントすることで、復旧までの暫定時間は約10分。

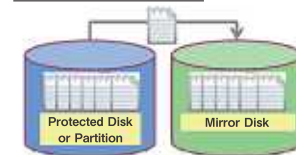
#### ブロックレベル (弊社製品)



4k~8kのブロック単位でレプリケーションされる

更に、通信断にも強く、リトライ後に続きからのレプリケーションが可能です。

#### ファイルレベル (他社製品)



1文字書き換えても、ファイルが丸ごとレプリケーションされる

#### 会社概要

**COMTURE** | コムチュア株式会社  
LEAD THE FUTURE | COMTURE CORPORATION

本社所在地: 東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー8F

設立年月日: 1985(昭和60)年1月18日

代表者: 代表取締役会長兼社長 向 浩一

資本金: 3億890万円(2010年3月31日現在)

従業員数: 475名(2010年9月30日)

主な事業: グループウェア・ERPソリューション、Webソリューション、ネットワーク運用サービス事業

URL: <http://www.comture.com/>

#### 問い合わせ先

ディーアイエスソリューション株式会社

ネットワークソリューション1課

TEL: 03-6429-6071 FAX: 03-6429-6066